

学校教育目標	「人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子」 ○互いを尊重しながら伝え合い、学びをつなげて物事を深く考える子どもを育てます。(知) ○自分を見つめ自分のよさに気づき、他者を思いやり、共によりよく生きる子どもを育てます。(徳) ○自他の生命と体を大切に、自ら健やかな体をつくる子どもを育てます。(体) ○自分らしい夢や目標をもち、地域や社会のために自分ができることを考え行動し続ける子どもを育てます。(公) ○自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、共に分かり合おうとする子どもを育てます。(開)			

学校概要	創立 56 周年 学校長 犬塚 真 副校長 中西 建介 2 学期制 一般学級: 23 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 751 人 主な関係校: 汐見台中学校・森中学校・浜小学校・山王台小学校・屏風浦小学校・森東小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汐見台・森中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<探求心・問題解決力>	汐見台中学校 森中学校 浜小学校 山王台小学校 屏風浦小学校 森東小学校	自他の心を大切に、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち 「コミュニケーション能力の育成」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科領域においてテーマを意識した授業を展開する。小中合同授業研究会でお互いの授業を見合い、協議会でその手立てについてやコミュニケーション能力の育成を教育活動の中心に据えて各校が教育活動を展開してきたことが子どもの具体的な姿としてどのように表れているのかを話し合うことで教育活動を検証していく。

中期取組目標	○ひと、もの、まちのつながりを広げながら、子どもたちが探求心をもって学び、問題解決力を高められる学校を目指します。 ・子どもたちが学び合いながら自分の考えを深められる授業づくりを推進し、目的意識をもって学び続ける力を育てます。(知) ・深く多面的な児童理解と一貫した児童指導をチームで進め、自己有用感と規範意識を育てます。(徳) ・安全に関する指導と児童の運動量の確保を進め、健康な生活を実践する態度を育てます。(体) ・地域に目を向けた学習や様々な交流活動及び、福祉教育を通して社会に参画する姿勢と共生社会を形成する意識を育てます。(公・開) ・職員一人ひとりが自身のキャリアステージを自覚し、人材育成がチームの中で連鎖する有機的な組織づくりを推進します。(組織運営・人材育成)
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①筋道立てて考える力や友達と伝え合う力を高め活用し、考えを深められる子どもの育成をめざす。主体的に情報を収集・整理・分析し活用するなど問題の解決に向け探究し続ける子どもの育成をめざす。②子どもたちの思考の流れが明確になるように板書を工夫する。子どもたちに見通しをもたせたり、思考を促したりする授業展開を心がける。話型を提示するなどし思考や表現をする時に活用できるようにする。タブレット端末用授業支援アプリやデジタルコンテンツ、学校図書館の効果的な活用により、主体的に情報の収集や活用ができるようにする。
徳 人権教育	①人権教育を通して、自分らしさについて考え、自分の良さを発揮しようとする心を育てる。②異学年交流や個別支援級理解を進め、自他の違いに気づき、相手を思いやる態度を育てる。規範意識を大切にすることを誰もが安心して過ごせる学校風土づくりにつなげる。毎月の学年研で人権教育に取り組みめる単元について共有し、日々の学習の中で確実に人権教育を行う。
体 体力向上	①日常的に継続できる課題を通して、児童の心身の健康と保持増進に励む。感染症対策を講じつつ、児童が相互に学び合うことができるように、グループ活動を通して友達と関わりを大切に、体を動かす楽しさやよさを感じ、自らの健康につなげられるようにする。②制約のある状況下でも、運動の楽しさや喜びを実感することができるように時間・場所・材を工夫して運動機会を設定し、持続可能な活動を継続して行う。
公 開 地域連携	①探求心をもって考え方の異なる他者とかかわったり、地域に関する学習をしたりする中で、「主体的にかかわろうとする姿勢」「良さを発見する力」「多様性を尊重しようとする態度」「問いを見いだす力」の育成を行う。②福祉教育や生活科・社会科・総合的な学習の時間等地域を材とした学習などにおいて目的をもって多様な人とかかわり、振り返りを通してかかわる楽しさを実感したり、よりよいかかわりを構築する方法を考えたりする経験を積み重ねる。
いじめへの対応	いじめの未然防止、早期発見・事案対処の三段階において、いじめ防止対策委員会が中核となり情報の収集や記録、対応に関する役割分担をし、調査を行う判断や対応を行う。また、この委員会は児童支援委員会と連携し、いじめ早期発見のための情報交換、子どもの実態把握に努める。また、年間計画を作成し、PDCAサイクルでの検証を行う。
人材育成・組織運営(働き方)	一人ひとりの専門性が発揮できる場作り、経験年数の少ない職員も様々な役割に自覚と責任、実行できる校内組織体制の整備、協力体制の構築を図るために、管理職の方針の基、主幹教諭や関係部署の主任が中心となってリーダーシップを発揮し、人材育成を行いながら活気ある組織運営を行う。
地域学校協働活動	学校運営に関する基本方針について承認を得るとともに、環境・福祉・防災等に関わるテーマをもとに協議を行い、課題解決を図る。10月の地域学校協働本部設置後、コロナ禍でも児童の読書環境が充実するために協力できることを考え、関係職員と連携して実施する。
担当	主幹教諭
担当	
担当	
担当	
担当	